

福島県職員採用候補者試験の見直しについて

若年人口の減少や民間企業の高い採用意欲等を背景に、受験者が減少している状況を踏まえ、令和6年度の福島県職員採用候補者試験について、以下のとおり見直しを行います。

1 大学卒程度試験に「行政事務（先行実施枠）」を新設

試験の特徴

- **第1次試験は4月・最終合格発表は6月**
早期の進路確定に資するよう4月に第1次試験を実施し、6月中旬に最終合格者を発表します。
 - **特別な公務員試験対策は不要**
第1次試験では、教養試験・専門試験は課さず、多くの民間企業等の採用選考で使用されている「基礎能力検査（SPI3）」を実施します。
第2次試験では、口述試験により、人物を重視した評価を行います。
 - **東京会場でも受験が可能**
第1次試験は、福島会場（福島市内）のほか東京会場でも実施します。
- 🚩 本試験は**6月に実施する大学卒程度試験との併願が可能**です。

「土木」では、専門性確認シートについて、第1次試験当日に記述する方式から提出する方式に変更します。

「大学卒程度（先行実施枠）」の試験概要（予定）

申込受付期間	3月1日～3月21日		
第1次試験	4月14日（日）（会場）福島市内・東京都内		
第2次試験	5月上～下旬（会場）福島市内		
最終合格発表日	6月12日（水）頃		
試験種目等	行政事務		土木
提出書類	アピールシート		専門性確認シート
第1次試験	基礎能力検査（SPI3） 論文試験		基礎能力検査（SPI3） 適性検査
第2次試験	第1回	個別面接（プレゼンテーションを含む） 適性検査	専門性確認のための個別面接 人物評価に係る個別面接 適性検査
	第2回	集団討論 個別面接	

🚩 大学卒程度（先行実施枠）試験の詳細は2月中旬公表予定です。

2 職務経験者試験の見直し

見直しのポイント

- **受験しやすい試験内容に**
第1次試験の教養試験を基礎能力検査（SPI3）に変更します。
公務員試験の準備の余裕がない方でも受験しやすい試験となります。
- **東京会場でも受験が可能に**
第1次試験の会場に東京会場を追加します。
UIターン希望の方にも受験しやすい試験となります。
- **受験しやすい試験日程に**
平日に実施していた第2次試験を土日に実施します。
- **公務員等の経験を職務経験の対象に**
受験資格の5年以上の職務経験について、これまで対象外としていた公務員やボランティアの経験（※）を対象とします。

※ 福島県内の市町村での職務経験は対象外となります。

※ ボランティア経験は、JICA ボランティア（青年海外協力隊）など継続して行うものに限ります。

「職務経験者」の試験概要（予定）

申込受付期間	7月下旬～8月下旬
第1次試験	10月6日（日）（会場）福島市内・東京都内
第2次試験	11月の土曜日・日曜日（会場）福島市内
最終合格発表日	12月上旬
第1次試験目	基礎能力検査（SPI3） アピールシート試験【事前提出】 論文試験
第2次試験目	個別面接（プレゼンテーションを含む） 適性検査

🚩 実施区分（職種）を含む職務経験者試験の詳細は7月中旬公表予定です。

3 大学卒程度試験「心理」の受験資格の見直し

大学卒程度試験の「心理」の受験資格を以下のとおり変更します。

変更前	変更後
公認心理師の資格を有する人又は取得見込みの人	次のいずれかに該当する人 ・大学において心理学を専修する学科を修めて卒業した人又は卒業見込みの人 ・公認心理師の資格を有する人又は取得見込みの人

※ 年齢要件（試験実施年度の4月1日時点の年齢が35歳未満）は変更ありません。

🚩 大学卒程度試験の詳細は4月中旬公表予定です。